

報道関係各位

光都東京実行委員会事務局

こうととうきょう ライトピア
「光都東京・LIGHTOPIA 2011」 12月29日午後10時閉幕。

期間中のご来場者数は、839, 000人！

光都東京実行委員会(会長:財団法人 東京観光財団 副理事長 船山龍二)主催の
「光都東京・LIGHTOPIA2011」は、昨日12月29日(木)午後10時をもって閉幕いたしました。12月22日(木)より開催された「光都東京・LIGHTOPIA 2011」は、
照明デザイナー 石井幹子(いしい もとこ)氏をエグゼクティブ・アドバイザーにむかえ、
『地球・環境・平和』をコンセプトに東京都千代田区丸の内エリアにて、人と地球にやさしい多様な光の世界を展開いたしました。

期間中、概ね天候にも恵まれ、おかげさまで80万人以上のご来場者をお迎えし、無事終了することができました。

○光都東京・LIGHTOPIA 2011開催期間

2011年12月22日(木)午後5時 ～ 2011年12月29日(水)午後10時 8日間

○期間中のご来場者数

839, 000人(総数)

※12月24日(土)は、185, 000人で期間中最高のご来場者を記録

実施概要

江戸から東京へ、常に日本の中心地として進化を遂げてきた、東京駅周辺。

6回目を迎えた今年も、光の祭典「光都東京・LIGHTOPIA 2011」がこのエリアに光を灯しました。今年は、「地球・環境・平和」というコンセプトに「絆と希望、そして未来へ」というテーマを加え、復興への希望のメッセージの発信と、人と地球にやさしい多様な光の世界を展開し、光のゆらめき、光のやすらぎ、光のときめきで、人と都市を包み込みました。

◆アンビエント・キャンドルパーク

丸ビル・新丸ビル間

12月22日（木）～29日（木） 17：00～21：30

東日本大震災からの復興を願って、従来のコンセプト〈地球・平和・環境〉に加え、〈絆と希望、そして未来へ〉というテーマも込めた明り絵が、明かりに囲まれた未来花とともに丸の内エリアに灯りました。千代田区の小学生や著名人の方々のほか、今年は岩手県、宮城県、福島県の小学生が描いた明り絵の温かさに加え、未来に向けた希望を象徴する未来花の清々しさが、2011年の暮れを彩りました。



▲アンビエント・キャンドルパーク

◆フラワーファンタジア

船ビル・東京海上日動ビル間

12月22日（木）～29日（木） 17：00～22：00

花と光が集う祝祭「フラワーファンタジア」。今年は〈絆と希望、そして未来へ〉をテーマに、花と光と水、そしてご来場された方々が一体となったイメージを感じていただける空間を演出しました。

冬の寒さに負けない花々の力強さで「春の予感/兆し」を、雪解けのせせらぎは光の川で。そして会場中心に雄々しく咲く「啓翁桜（けいおうざくら）」で、一歩早い春の予感（復興への希望）をイメージしました。



▲光のアート・インスタレーション



▲「フラワーファンタジア」



▲シンボルツリー「啓翁桜」